学校番号	1101

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「　最新情報Ⅰ」　（実教出版）						
副教材等	最新情報Ⅰ学習ノート（実教出版）、30時間マスターWord&Excel2019（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報社会と私たち	情報社会 1 情報社会と情報 2 情報社会の法規と権利 3 情報技術が築く新しい社会	a: 情報化が進展する社会の特質について説明することができる。 b:SNS の活用など，不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点を挙げることができる。 c: 情報社会の現状についてインターネット等で調べようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
		情報社会の法規と権利 1 知的財産 2 情報の利用と公開 3 個人情報の保護と管理	a: 目的を達成するために，著作物を法にしたがって適切に利用する方法を説明することができる。 b: 知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。 c: 問題を解決するために，知的財産を適切に活用し，主体的に創作活動に参画しようとしている。	定期考査	定期考査	レポート
		情報技術が築く新しい社会 1 社会の中の情報システム 2 情報技術と課題解決	a: POS システム，電子マネー，電子決済の仕組みを実例を挙げて説明することができる。 人工知能，IoT，仮想現実や拡張現実についてそれぞれ説明することができる。	定期考査		
	メディアと情報デザイン	メディアとコミュニケーション 1 メディアの発達 2 メディアの特性 3 コミュニケーションの形態 4 インターネットのコミュニケーション	a: 様々なメディアを分類することができる。 メディアを活用したり，メディアを用いてコミュニケーションを図ったりすることができる。 電子メール SNS など，インターネットを利用する各種メディアとその特性について説明することができる。 c: 情報メディアや表現メディアを活用し，主体的に情報を発信することができる。	定期考査		観察

		情報デザイン 1 社会の中の情報デザイン 2 情報デザインの工夫	b: 情報バリアフリーやユニバーサルデザインについて，身近な例を挙げることができる。 c: 情報をわかりやすく伝達するために，文字や図，表やグラフなどを工夫して表現する学習活動を自ら進んで行い，評価を受けて改善を図ろうとしている。		レポート	振り返りシート、観察
		情報デザインの実践 1 文書の作成 2 プレゼンテーション 3 Web ページ	a: 文献やインターネットから情報を収集したり，調査等を行って情報を収集したりすることができる。 実際にプレゼンテーションのためのスライド等の資料をコンピュータで作成することができる。 c: プレゼンテーションの実施やWeb ページの公開にあたって，情報伝達の目的に適合するコンテンツ制作に努め，試行錯誤しながら個人やグループのコンテンツ制作の技能を高めようとしている。	定期考査		振り返りシート、観察
	システムとデジタル化	情報システムの構成 1 コンピュータの構成と動作 2 ソフトウェアとインターフェース	a: ソフトウェアの種類とその働きを説明することができる。 c: コンピュータを構成する装置とその性能について興味・関心を示し，自分で調べようとしている。	定期考査		レポート、観察

		情報のデジタル化 1 アナログとデジタル 2 2 進数と情報量 3 演算の仕組み 4 数値と文字の表現 5 数値の計算 6 音声の表現 7 静止画と動画の表現 8 情報のデータ量	a: アナログとデジタルの概念とその違いを理解している。 論理回路による演算の仕組みについて説明することができる。 2 進数・10 進数・16 進数を相互に変換することができる。 音声の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 b: 情報量を適切な単位で表現したり，変換したりできる。 画像の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。 c: データ量の計算について関心を持って取り組もうとしている。 数値・文字・音声・画像などのデジタル化された情報を，主体的かつ適切に取り扱おうとしている。	定期考査	定期考査	観察
後期	ネットワークとセキュリティ	情報通信ネットワーク 1 ネットワークの構成 2 情報通信の取り決め 3 Web ページとメールの仕組み 4 転送速度とデータ圧縮	a: 通信方式の種類やその違いについて説明することができる。 IP アドレス，ドメイン名，ルーティングの基本的な仕組みや働きについて説明することができる。 WWW や電子メールなど，インターネットのサービスの内容と基本的な仕組みを説明することができる。 通信データの転送速度とファイルを圧縮する意義について理解している。	定期考査		
		情報セキュリティ 1 脅威に対する安全対策 2 情報セキュリティの確保 3 安全のための情報技術	a: 情報セキュリティポリシーの概要や意義について説明することができる。 メッセージの送受信，デジタル署名，電子認証などに応用されている暗号化の方式と仕組みについてそれぞれ説明することができる。 b: パスワードの設定と管理について考え，適切に判断して実行することができる。 c: 情報セキュリティポリシーの必要性を感じている。	定期考査	レポート	レポート

	問題解決とその方法	問題解決 1 問題解決 2 問題の発見 3 問題の明確化 4 解決案の検討 5 解決案の決定 6 解決案の実施と評価	a: 問題や問題解決の意味，問題解決の手順について説明することができる。 問題の明確化のための目的や目標の設定や，問題の構造を分析することができる。 問題の解決案を比較検討する資料をしたり，問題解決の工程表を作成したりすることができる。 問題解決の評価の方法について理解している。 b: 問題の解決案を検討するために必要な情報を収集・整理し，検討のための適切な資料を作成できる。 c: 主体的に問題解決に取り組み貢献しようとしている。	ワークシート	ワークシート	観察
		データの活用 1 データの収集と整理 2 データ分析と表計算 3 データの可視化 4 データ分析の手法 5 データベースとは	a: データの種類と尺度水準について理解し，収集したデータを整理することができる。 表計算ソフトで統計処理に用いる関数を活用してデータを処理することができる。 グラフの種類や機能を理解し，表計算ソフトを用いてデータをグラフ化することができる。 クロス集計，相関係数を用いた分析，回帰分析を行うことができる。 データベースの意味と必要性を理解し，事例としてリレーショナルデータベースの機能について説明することができる。	ワークシート		
		モデル化 1 モデル化とシミュレーション 2 モデルの分類 3 モデル化の手順 4 モデル化の手法 5 モデル化をする時の注意	a: モデル化およびシミュレーションの意味について説明することができる。 縮尺モデルなど表現形式による分類，動的モデルなど対象の特性による分類など，モデルを分類することができる。 モデル化の基本的な手順について説明することができる。	ワークシート		

		シミュレーション 1 シミュレーションの実際 2 モンテカルロ法 3 モデル化とシミュレーションによる問題解決	a: シミュレーションの意義や方法について説明することができる。 待ち行列を事例にモデル化とシミュレーションによる問題解決を行い, 問題解決の方法を経験して理解している。	ワークシート		
	アルゴリズムとプログラミング	プログラミングの方法 1 アルゴリズムとその表記 2 プログラミング言語	a: プログラミング言語のおもな種類とその特徴を理解している。 c: アルゴリズムやフローチャート等の表記に, 興味や関心を示している。	定期考査、ワークシート		レポート、観察
		プログラミングの実践 1 プログラミングの方法 2 関数を使用したプログラム 3 探索と整列のプログラム	a: 変数を使用して選択構造や反復構造のプログラムを作成することができる。 関数の概念を理解して関数を使用し, 簡単なプログラムを作成することができる。 c: 問題解決のためのアルゴリズムを考え, 粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成することができる。	定期考査、ワークシート		レポート、観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度